



ゆうメール



2月の営業日

○の日はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

この冬はたくさん雪が降りましたね。雪かきでお疲れでいてませんか？
大雪や、火山噴火、津波に地震、さらにオミクロンと落ち着かないですね。電化製品も入荷が難しい物ばかりで、ご迷惑をおかけしています。
普通の平穏な毎日が、早く戻ってきますように！

今月は、今の時期、たくさんご注文をいただく加湿器についてお勉強しましょう。冬は室温18~22℃で湿度40~60%が最適とされています。
風邪やインフルエンザのウイルスは湿度の低い環境で活発に活動するのです。

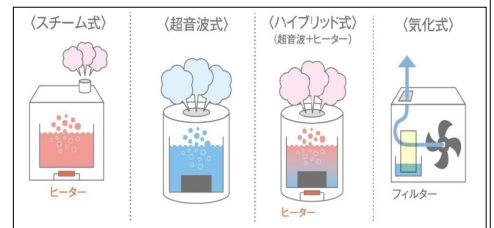
加湿器には、4種類のタイプがあるんです。

- ①スチーム式（加熱式）：ポットややかんのようにお水を沸騰させてその湯気をファンで空中に送り潤すタイプ。
- ②超音波式 超音波の振動で、ミスト（霧）を発生させて、ファンで風を当て、空気中に拡散するタイプ。
- ③ハイブリッド式（加熱気化式） フィルターに水を含ませ、ヒーターとファンで作った温風を当て、水分を気化させるタイプ。
濡れタオルにドライヤーの温風を当てるイメージ。
- ④気化式 フィルターに水を含ませ、ファンで風を当てて気化した水蒸気を放出するタイプ。濡れタオルに強風の扇風機をあてるイメージ。

では、それぞれのメリット、デメリットは？

- ①スチーム式
水を沸騰させるので、菌が繁殖しにくく衛生的。室温を上げる効果も。加湿能力は抜群、短時間で湿度を上げます。
でも、ヒーターの加熱に電力を使うので、電気代は高いです。吹き出し口が熱くなるので、やけどのリスクもあり。沸騰するまでの待ち時間があります。
- ②超音波式
本体は、熱くならない。本体価格も、電気代も控え目。
でも、水の粒子を放出するので、手入れを怠り、タンクやトレー、フィルターに雑菌を繁殖させてしまうと、空中に雑菌を放出させてしまう。
- ③ハイブリッド式
温めた風を当てることで、スピーディーに加湿。細菌の抑制を抑えられ、加湿した風を遠くまで届かせることができる。
でも、ヒーター搭載の分、気化式より消費電力が大きい。本体価格も高い。フィルターの交換は必要。
- ④気化式
ハイブリッド式と同じく、細菌の抑制を抑えられ、電気代などのランニングコストがほとんどかからず、熱くならない。自己調湿機能あり。
でも、加湿能力を得るために送風量が多くなる。モーター音や、風切り音が気になるかも。フィルターの交換は必要。

- ①スチーム式をおすすめなのは、こんな方。
・清潔な水蒸気で加湿したい。・早く湿度を上げたい。・冬、室温を上げながら使いたい。
- ②超音波式をおすすめなのは、こんな方。
・手ごろな価格で購入したい。・毎日こまめにお手入れできる方。
- ③ハイブリッド式をおすすめなのは、こんな方。
・清潔に加湿したい。・早く湿度を上げたい。・子供がいても安全に使いたい。
- ④気化式をおすすめなのは、こんな方。
・電気代をおさえたい。清潔に加湿したい。・子どもがいても安全に使いたい。
・結露やカビを抑えて、加湿したい。・広いリビングをずっと加湿し続けたい。



最近、『加湿器肺炎』という言葉を聞きます。

加湿器肺炎とは加湿器の中に生育したカビ（真菌）を吸い込むことで起こります。吸い込んだカビ自体は非常に病原性が弱く肺に直接炎症を起こすことはありません。しかし吸い込んだカビに対して肺や気管支がアレルギー反応を起こすことが加湿器肺炎の原因です。専門的には過敏性肺炎というアレルギー性肺炎の一種になります。
加湿器の中のカビが原因ですのでこまめに加湿器の水を取り替える、加湿器の中の掃除などメンテナンスをしっかりと行うことが大切です。カルキの入った水道水を使うことも大事です。

加湿が大事だということは、わかっていただけたと思いますが、あまり加湿しすぎると、高湿度な環境ではカビやダニ、ノミが活発になるのです。

おおむね室温20~30℃、湿度70%以上でカビが、室温25℃、湿度75%以上でダニが活発になると言われています。

加湿し過ぎでの、窓の結露も気をつけてください。

加湿器は空気中に舞っている花粉や小さなホコリの対策にも効果的です。空気中に水分が多くあると花粉の飛散が落ちつき、空気中に舞うのを防ぎます。春の花粉の時期まで使ってください。

2022年の節分の日は2月3日（木）方角（恵方）は、

「北北西や北」です。

「恵方を向いて丸かじりして無言で食べ切れば、願いがかなう」と言われる恵方巻き。七福神にちなんで、7種の具を使うのがお約束だそうです。

